

●機構改革・事業施策の方針は

問 機構改革のあり方について本庁舎と浅羽支所の統合はどのように考えるか。

答 市民の移動を最小限にして基本的な市民サービスが提供できることが望ましい。現状では、スペースに余裕がないため、教育委員会を本庁舎に移転することを検討している。

問 墓地公園整備について、建設場所の早期の決定と地元説明は大切な作業と思うが考え方はどうか。

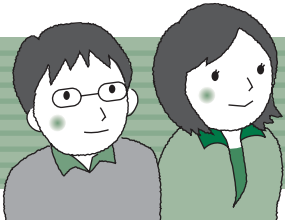
答 5箇所の候補地から1箇所に絞り込み、地元で打診してきたが、現段階では大変難しい状況である。候補地を決定し、平成24年の完成を目標に鋭意努力していきたい。

問 現市民病院の将来のあり方について検討していく時期だと思うがどうか。

答 新病院と機能分担をした活動が求められる。現市民病院は、療養系の病床としての活用や、健康づくりの観点から、総合健康センターの設置等も視野に入れたものが考えられる。



浅羽支所



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

●国本地区の開発は、再考すべきでは

問 国策や経済状況の変化により商業資本の整備はすでに時期を逸し、具現化は困難と考えるが。

答 こうした事業は、通常長時間がかかるのも事実である。健康産業都市構想の実現の基盤として、中東遠地域の中軸を目指す本市として必要な事業であると考えている。

問 このままでは、時間とお金を限りなく使うことになる。地権者等のためにも期限を設け方向性を明確にすべきでは。

答 一定の期限がすぎれば、検証することも必要と考える。市にとって数少なく残されたにぎわいの場所となるので、この事業を進めていきたいと考えている。

●学校給茶機の設置の考えは

問 茶業振興とインフルエンザ予防対策として給茶機の設置を早急に検討すべきでは。

答 いくつか課題はあるが、まずは小規模校で試験的に行う。磐田市が採用しているセルフ式の給茶機の設置を検討していきたい。



磐田南小学校に設置されている給茶機